

政友会 今井 俊郎 議員



- 1 市立図書館と学校図書館の状況
- 2 小学校の保健室の状況について
- 3 学校現場での体罰について

質問1(1) 公民館の図書コーナーや図書室の充実や活性を求める。

答弁1(1) 関係課や各公民館と十分協議を重ねながら図書の利用促進に努めていきたい。

質問1(2) 読書教育について学校により取組みにばらつきがある。読書教育充実への今後の方策は。

答弁1(2) 学校経営の柱のひとつに位置づけると共



鈴鹿市立図書館

に教職員の研修に努める。

質問2 保健室への来室が多い学校の分析と対策は。

答弁2 校長会や保健担当者の研修会を通じて児童生徒の心身の健康保全と保健室の適切な運用等に周知を図っていきたい。

質問3(1) 体罰の報告並びに懲戒と体罰の考え方は。

答弁3(1) 鈴鹿市では過去5年間に4件体罰があった。学習課題や清掃活動を課す、立ち歩きの多い児童を叱って席に着かせるなど肉体的精神的に苦痛を与えない限り体罰には当たらないと考えている。

質問3(2) 毅然とした指導と体罰の未然防止について。

答弁3(2) 一時の感情に流されず職員会議などで共通理解を図り複数の教職員による組織的な指導を行うなど体罰の未然防止に努めていく。

市政研究会 大西 克美 議員



- 1 市長の次期出馬について
- 2 給食費について
- 3 不登校について

質問1 2期8年の任期中の市政運営の実績は。また残された課題を自らの手で遂行する気持ちは。

答弁1 「対話」と「信頼」を政治姿勢の基本に据え、市政の舵取りを行ってきた。「堅実で、着実な行政運営」が実績である。スタートさせた第5次鈴鹿市総合計画はまだ半ばで課題が多々あり、自らの手で達成したいとの思いはあるが、市長という重い職責を考えると熟慮する必要がある。

質問2 給食費の価格改定にかかる経緯とここ3年間の給食費未納の現況についてを問う。

答弁2 経済不況によりしばらく改定を見合わせていたが、この9月より改定する。給食費未納者は平成19年度は85名で、約148万円、平成20年度は102名で、約174万円、平成21年度は108名で、約145万円である。

質問3 不登校児童生徒数の現況と推移は。教育研究所の適応指導教室の在籍数と学校復帰数は。在宅の不登校児童生徒に対する対応と今後の取組みは。

答弁3 ここ3年間は220名前後となっており、全国とほぼ同様の傾向である。教室に在籍した生徒は平成19年度は51名、平成20年度は45名、平成21年度は37名。うち復帰したのは、平成19年度は30名、平成20年度は29名、平成21年度は32名である。在宅不登校児童生徒には、適切な家庭訪問や様々な相談事業等でこれからも取り組んでいきたい。

公明党 伊藤 寿一 議員



- 1 市営住宅の今後について
 - (1) 自治会運営の援助策はあるのか
 - (2) 今後の市営住宅の高齢者対策は
- 2 EMの配布について
 - (1) 本来の目的は
 - (2) 配布は縮小ではなく拡大すべき

質問1(1) 市営住宅団地の外国人の増加で、回覧板、共益費、駐車、ごみ出し、迷惑駐車等々で自治会活動に障害が出ているが対策は。

答弁1(1) 平成17年度からNPO法人による外国人入居者ガイダンス等を実施している。問題の都度、注意、指導したり翻訳サービスを行っている。国勢調査も27種



市営住宅(安塚団地)

類の外国語による調査票や記入方法で対応。

質問1(2) 高齢者世帯の増加による介護や自治会運営等の高齢者対策をどう考えているか。

答弁1(2) 段差解消、手摺の設置等、退去した住居から順次実施する予定。建替で発生した跡地を売却し、福祉施設や医療施設の誘致を地域特性を踏まえ進めていく。

質問2(1) 本来の目的と下水道整備の完成はいつか。

答弁2(1) 水環境の改善に格好の素材と認識している。下水道完備は平成50年頃を目途としている。

質問2(2) 実証、実績を見て拡大し、下水道完備の30年間持続し環境浄化を目指すべきでは。

答弁2(2) 多くの自治体の事例の情報収集を進め、効果を生むような取り組みをしていく。